

やまとし こみんか まな
大和市の古民家について学ぼう

きゅう きた じま け
旧北島家

そうけん

えどじだいまつきごろ

創建：江戸時代末期頃

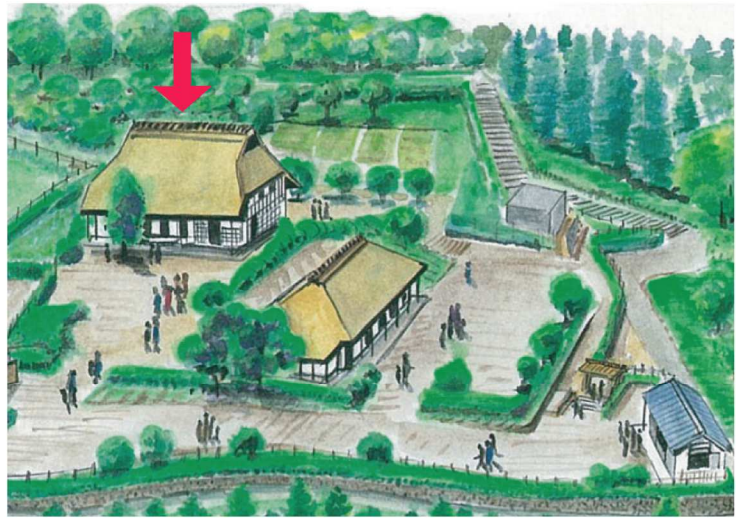
きゅうしょざいち

やまとし

しもつるま

旧所在地：大和市下鶴間

ぐぞ しゅうらく
(公所集落)



もんだい 1

へや

部屋はいくつあるかな？

もんだい 2

てんじょう

ようす

天井の様子はどんななってるかな？

もんだい 3

たたみ

へや

なに

畳のある部屋は何をするところかな？

もんだい 4

おお

なに

つか

大きなカマドは何に使うものかな？



やまとし

こみんか

まな

大和市の古民家について学ぼう

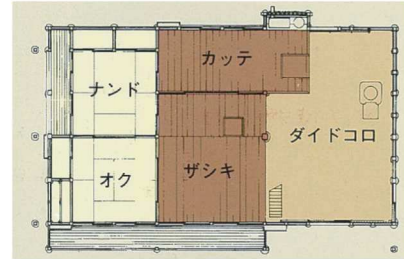
答え

もんだい 1

へや
部屋はいくつあるかな？

旧北島家には4つの部屋があります。それぞれザシキ・カッテ・オク・ナンドと呼びます。旧小川家はザシキ・デエ・ヘヤの3部屋でしたが、旧北島家は1部屋増えています。

部屋が増えたのは、ダイドコロ(土間)とザシキとの境にある大黒柱のおかげです。この柱が家全体を支えてくれるおかげで、柱の数を減らせるようになり、家を広く作れるようになりました。



旧北島家の間取り

もんだい 2

てんじょう ようす
天井の様子はどうなってるかな？

天井を見てみると、板が張ってあります。ここは人が上がれる2階になっています。この2階は蚕を飼育する場所として使われていました。旧北島家は農業と養蚕をする養蚕農家でした。

お金を稼げる蚕をたくさん飼うためには、より広い場所が必要だったので、天井を2階にして使っていました。また、屋根の作りも養蚕用に変化しています。



かいこ
2階への上がり口
普段は上に行けません

もんだい 3

たたみ へや なに
畳のある部屋は何をしたらいいかな？

家の中には板の床と畳の床の部屋があります。畳の部屋は、役人などが来た時に使われる、今でいう応接間として使われていました。

また、結婚式やお葬式といった行事の時にも、畳のオクやナンドといった部屋を使っていました。



お葬式の様子
下和田にて



結婚式の様子
深見にて

もんだい 4

おお なに つか
大きなカマドは何に使うものかな？

旧北島家の土間にある大きなカマドは、ご飯を炊く、おかずを作るといった普段の食事のためには使いませんでした。この大カマドは、自宅で味噌や醤油などを作る際に、材料の大豆を煮る時など、一度にたくさんのものを煮るために使いました。

※キケンですので、カマドには触れないでください



味噌用の大豆を煮る
郷土民家園の「味噌作り」教室にて